校長室だより

柏原市立堅上小学校
令和７年度　第５号
令和7年7月１１日

【引き渡し訓練について(6/20)】

去る６月２０日（金）に実施した「引き渡し訓練」についてのアンケートに保護者のみなさまから回答をいただきました。学校での改善に活用させていただきます。以下に、いただいた回答に対する対策案や感想を掲載いたしますのでご家庭でも今後の参考にしていただけたらと思います。

⑴ アプリでのお知らせまで、仮にしてくださっていて、少しでも本番に近い環境を提供してくださって良かったと感じました。先生も意欲的に声をかけ合って、スムーズに流れるように努めてくださっていて、先生方の連携が見られて良かったと感じました。ありがとうございました。

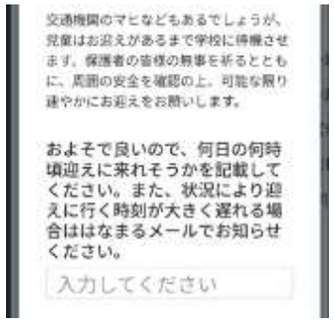
⑵ 何かあった時は訓練通りに行かないこともあるかもしれませんが、お互いに臨機応変に対応できるようにいつでも何があってもおかしくないという心構えが必要だなぁと感じました。ありがとうございました。

⑶ 通信が出来ないような状況だったら、保護者が健在ならとにかく学校へ向かえば良いのでしょうけれども、例えば両親とも残念な事になっていたら、子どもは一旦引き渡しカードにある友人保護者宅に預かられるとして、両親が残念な事をどうやって学校が知るのか、どの段階で子どもの親戚に連絡が行くのかが気になりました。そう言う事に思いを馳せられるきっかけになるのも、とても意義深い事だと思いました。

→ *⑴⑵⑶については,私たち教職員も保護者のみなさまも「このようなときにはどうするのが良いか」を日ごろから考えておくことも提言いただいています。ご家庭でもお子さんと事前の打ち合わせをよろしくお願いします。他の回答でもご指摘があるように、通信機器が使えない場合もあるのでその想定も大切です。また、ご両親が残念なことという最悪の想定は考えたくありませんが、学校では知る手段がないので、お迎え名簿に協力いただいている方々とも、もしもの場合の連携をお願いします。*

⑷ 引き渡しの目安時間を回答したが、交通状況や道路事情等で、回答後に時間変更が余儀なくされる可能性もあるので、変更連絡ができるようになると望ましい。

→ *ご意見の通りだと思います。はなまるアプリのアンケート機能は回答をすると再度の回答ができません。状況の変化により迎えの時間が大幅に遅れることはあり得ますので、その際は「はなまるでの欠席連絡」と同様にそちらでお知らせいただけたらと思います。アンケート文にもそのことを明記するように変更しました。*



⑸ 震度５以上となると、学校へ向かう道路が崩壊して車両通行止めとなるケースも考えられます。もし管轄の警察・交番から情報が入った場合には「はなまる」で教えていただきたいです。

→ *情報が発信できる状況であれば可能な範囲で発信もしていく予定ですが、子どもたちの安全確保が最優先ですので、リアルタイムで送信は難しいと思われます。ご理解をお願いします。また、柏原市のFacebookは災害時にリアルタイムで情報更新を行う予定ですのでそちらもご活用ください。*

⑹ もし連絡・通信網が遮断されると、家族間の連絡も途絶えることが考えられます。もし手間でなければ、お迎えを誰がいつ来たか、どこの避難所・家に向かうかを引き渡し名簿に記録していただけるでしょうか。引渡し役の先生方は引き渡しが終了したら各自家に向かわれると思われますが、堅上小学校は避難場所になっていますので、避難場所責任者に名簿を預けるか掲示していただけるとお迎えの行き違いを防げるケースがあるかもしれません。

→ *今回の訓練でもお迎えに来られた方や日時・学校の受付担当者を控えるようにして行いました。どこに向かわれたかの記録については今後検討したいと思います。避難所との情報共有は必要に応じて行う予定です。*

⑺ 受付時、職員と引渡し者側との確認会話がスムーズではなかったことが気になった。初訓練であったとはいえ、改善が必要であると感じた。職員より率先して、引渡し者に申告してほしい情報の声掛け（児童情報、引渡し者情報など）を行わなければ、引渡し者側は必ず戸惑うことになる。また「緊急時引渡しカード」フォーマットについては、引渡し者氏名に「ふりがな」追加、「族柄」欄を氏名の隣にすることで職員の確認がスムーズにできるのではないかと感じた。

→ *職員の反省でも同様の意見がありました。受付時にだれが対応しても同じようにできるようマニュアルを準備していきます。緊急引き渡しカードについてのご提案も検討していきたいと思います。*

裏面につづく

⑻ 地震時に４階まであがること、余震も考えられる中、４階から降りることは危険ではないか。親へ一斉送信されたいつ迎えに来るのかのアンケートはサーバが圧迫され、表示されない方、送信できない方がいましたが、普段から山の中で電波が悪い中、災害時に本当に機能するのかどうか。

→ ***大規模地震発生時の避難場所は「運動場」が原則と考えています。気温や天気を勘案し、建物の安全が確認できれば校舎内に移動する予定です。状況により２，３階の使用も考えますが、不安を抱えた子どもたちを１か所に集めたほうが職員の仕事分担をしやすいこともあり、４階ホールも候補です。また、建物の安全性を考えて中学校体育館への避難もあり得ます。通信環境は大規模災害の場合使用できない可能性が高いのはご指摘とおりです。使える場合にはできるだけ情報発信や情報収集を行いたいと考えていますが、使えない場合はお迎えが来るまで待つしかない状況であることをご理解の上、臨機応変なご対応をお願いします。***

総括

保護者のご協力を得て実施した引き渡し訓練でしたが、それぞれの視点からの課題などが発見でき、実りあるものとなりました。学校としては無事に子どもたちをお迎えに来ていただいた方にお渡しすることが第一義です。

私自身、防災士として能登半島地震や豪雨災害の経験談聞かせてもらう機会がありますが、それらと照らし合わせても事前の準備を十分にしたつもりでも次々に問題が出てくるのだろうと思います。学校としては、可能な限りの準備をしたうえで、あとはその場での対応に全力を尽くせるようにしたいと考えています。

発災時の混乱した中でそれが速やかにできるようにご家庭でも子どもたちと十分に打合せしていただくことや、引き渡しカードのお迎えの方との連携、お迎えに来ていただく方の登録などをよろしくお願いします。

※万一の発災時、引き渡しカードに名前がない方が好意で「一緒に連れて帰ります」という申し出があった場合、心苦しいですがお断りするのが原則です。東日本大震災において、好意で引き受けた方が津波に巻き込まれて子どもも亡くなるということがおこっています。各家庭において、引き渡しに来ていただける可能性がある方をすべて記載いただくようお願いします。

【冷たいお茶】

昨年と同様に、６月下旬より補充用の麦茶を原田さん・新川さんを中心に毎朝沸かして用意し、昼休みには１階保健室前に冷たい麦茶を設置しています。（1 学期は 7/11 で終了します）

家庭で飲み物を持たせていただいていますが、2 学期も 9/2 から用意しますので、足りなくなったらこれを補充するようご家庭でもお伝えください。一人 400cc くらいは可能です。

【SNS の使用について】

６年生が 7/9(水)に柏原警察と通信事業者の講義を受講しました。

その中で、

・寝る直前までスマホを見ている　・人が話しかけてもスマホから目を離さない

・スマホがなければ生きていけない　など

5 つの項目の 1 つにでも当てはまれば依存症や脳へのダメージのリスクがあることを教えていただきました。

また、LINE では相手の立場に立った使い方・写真や個人情報をアップしてしまったことで、それらが断りなく拡散されて誘拐や詐欺・脅迫などにつながってしまい辛い思いをした小中学生もいることを学びました。

子どもたちが使用している中で困ったことが起こってしまったときに、親や先生などに相談できる環境があれば防ぐことができたケースも多くあるとのこと。**「困ったときには身近な大人に相談を」**というお話で講座は締められました。

講座終了後、校長室で柏原警察の方とお話ししている中で、大阪府下でも例外ではなく身近で起こっているということでした。

スマホを持っている子どもたちも多数います。大きなトラブルに巻き込まれないような使い方をするのは子ども自身の問題であると同時に未成年については保護者の責任です。日常から家庭でのルールを確認していただき、子どもだけの判断で使用させないようにご留意ください。

夏休みはこどもたちだけで過ごす時間も増えることだと思います。学校でも声かけは行いますが、家庭も含めて困ったときに相談できるよう心掛けていきましょう。